

大林道路 福本社長 全員参加の安全管理

大林道路の福本勝司社長は6日、兵庫県川西市で施工しているNEXCO西日本発注の「新名神高速道路川西舗装工事」の現場で安全パトロールを実施した。写真は、同工事は新名神高速道路大津ジャンクションから神戸ジャンクションを結ぶ新設工事で、現場の安全や作業環境を確認した。

パトロールで福本社長は「安全の基本はケガをしただけ痛いという原点到立ち返る」として「第1に法令順守。法令を逸脱しない」という意識を強く持つこと、事故を未然に防ぐ



「安全の基本はケガをしただけ痛いという原点到立ち返る」として「第1に法令順守。法令を逸脱しない」という意識を強く持つこと、事故を未然に防ぐ

呼び込む可能性を排除し、一日一真摯（しんしん）に作業をしていくことを目指す」と強調した。

最後に「第3に全員参加の安全管理を行うこと。一人の目で現場を見るよりも、30人が同じ安全意識を持って現場

を見ることが危険の芽を何倍も早く気付くことができる。些細な疑問や問題を上司にすぐに報告できる職場のコミュニケーションづくりも大切である。社員、作業員全員が毎日楽しく家路につけるよう頑張っていく」と呼び掛けた。